

第16回 トラック輸送における取引環境・労働時間改善 佐賀県地方協議会の取組について

令和7年3月19日(水)

＜協議会事務局＞

九州運輸局 佐賀運輸支局

佐賀労働局

公益社団法人 佐賀県トラック協会

<振り返り>これまでの佐賀県地方協議会の主な取組

令和元年度～検討対象分野の選定～

- 協議会での検討対象輸送分野を『加工食品』・『農産物』に決定

令和2年度～検討対象輸送分野の取組推進～

- 農産物輸送効率化に向け、**農産物懇談会の立上げ**を提案
- 加工食品物流に関する運送事業者アンケート実施

令和3年度～農産物懇談会の開催～

- **第1回農産物懇談会**を開催 【参加者】JAさが、九州農政局・佐賀運輸支局
【事務局】佐賀県トラック協会
- 加工食品に関する運送事業者・荷主企業に対するガイドライン周知
※ ガイドライン・・・「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」

令和4年度～農産物懇談会の継続開催・改善基準告示改正～

- **第2回・3回農産物懇談会**を開催 【参加者】JAさが、全農物流、食料品部会(佐賀運輸、前田運送、東西運輸)九州農政局・佐賀県・佐賀運輸支局
【事務局】佐賀県トラック協会
※下線太字部は第2回懇談会より新たに参加
- 標準的な運賃・ガイドラインの浸透状況等に関するアンケート実施
- 改正後の改善基準告示説明会を開催

令和5年度～農産物懇談会の継続開催・改善基準告示改正～

- **第4回農産物懇談会**を開催 【参加者】JAさが、全農物流、佐賀運輸、前田運送、東西運輸、
九州農政局・佐賀県・佐賀運輸支局・佐賀県トラック協会
- 標準的な運賃・ガイドラインの浸透状況等に関するアンケート実施
- 改正後の改善基準告示説明会を開始

議題

佐賀県地方協議会の重点取組事項

01

- ・広報リーフレットの配布、セミナー・説明会等での説明
- ・長時間労働改善の相談センター、ポータルサイトの周知
- ・トラック事業者を対象とした「標準的な運賃」の収受率、「取引環境ガイドライン」の認知度・態度変容に関するアンケートの実施

など

その他取組事項

02

- ＜トラック・物流Gメンによる活動＞
- ・違反原因行為の情報収集の実施
- ・荷主・元請け事業者等に対し、トラック事業者が関係法令を遵守して事業を遂行することができるよう配慮することの重要性について理解を得るための周知・協力要請の実施
- ＜人材確保施策の実施＞
- ・ハローワーク、業界団体による合同企業説明会の開催
- ・自衛隊地方協力本部と連携した取組

など

＜基本的考え＞

- ・「全輸送分野」において、「標準的な運賃」の認知度向上や「働き方改革」の取組み等を進め、実態把握していく
- ・昨年度創設された「トラックGメン」の活動も今後の協議会の取組事項として共有していく
- ・重点項目としてはこれまで「加工食品」「農産物」をテーマに議論
- ・「加工食品」については、ガイドラインの浸透を引き続き図り、自社で取り組める内容は積極的に取り組んで頂くよう利用促進を図ることが必要
- ・「農産物」については、農産物懇談会を切り口に取組み状況の共有/情報交換を実施していく

＜重点取組事項の各目標（令和6年度末まで）＞

＜目標＞ R5年度承認

＜達成状況＞ 赤字は目標達成

全輸送分野	1	『標準的な運賃』の推進	届出率：100% 收受率（令和5年度より新設） 標準的運賃比100%以上→20% 標準的運賃比70%以上 →60%	届出率：100% 收受率 標準的運賃比100%以上→7.5% 標準的運賃比70%以上 →61.3%
	2	ホワイト物流推進運動賛同企業数の拡大 . .	県内賛同事業者24社 ※九州各県の賛同企業数の平均値	県内賛同事業者19社
	3	改正労働基準法の周知及び理解の促進 . . .	1年間に説明会を4回実施	説明会を18回実施
加工食品	4	取引環境改善ガイドラインの浸透	認知度：75% 態度変容率：70%	認知度：73.8% 態度変容率：73.8%
農産物	5	農産物輸送効率化の協議推進	農産物輸送効率化のための懇談会の開催	R7.2 書面開催

令和6年度 佐賀県地方協議会 重点取組事項

重点取組事項	主な取組状況	目標達成状況
「標準的な運賃」 の推進	R6.6.18 協議会委員に対して、トラック輸送の取引環境・長時間労働の改善に向けた荷主企業への周知活動等への協力を要請 【運輸支局】	目標届出率：100% ※標準約款届出済みの トラック協会会員事業者(霊柩除く) 95.38% (R6.1.末) ▶ 100% (R6.12末)
	R6.12.19~R7.1.22 運賃の収受状況等に関するアンケート 【運輸支局】	
	R7.2.7 唐津労働基準監督署 労務管理セミナーでの周知 29社 【運輸支局・労働局】	目標収受率： 「標準的な運賃」額の100% 以上を収受している事業者の 割合・・・20% 3.3% (R6.1.末) ▶ 7.5% (R7.1末) 「標準的な運賃」額の70%以上を収受している事業者の割合・・・60% 55.8% (R6.1.末) ▶ 61.3% (R7.1末)
	R7.2.15 ローカルネット実務者大会での周知 【運輸支局】	
	R7.2.21 佐賀労働基準監督署 上限規制説明会での周知 29社 【運輸支局・労働局】	
	R6年度（R6.4~R7.2） トラック・物流Gメンによる 事業者へのヒアリング ヒアリング 41件 情報収集 27件 【運輸支局】	

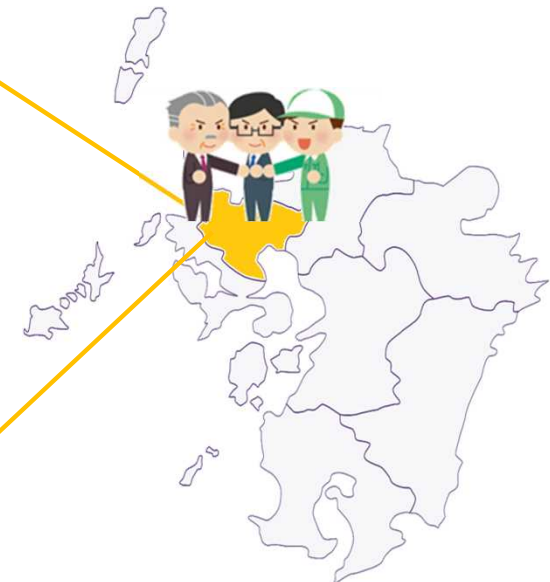
令和6年度 佐賀県地方協議会 重点取組事項

重点取組事項	主な取組状況	目標達成状況
ホワイト物流 推進運動 賛同企業数拡大	R7.2.7 唐津労働基準監督署 労務管理セミナーでの周知 29社 【運輸支局・労働局】	【目標県内賛同事業者数：24社】 14社 (R5年度末) ▶ 19社 (R6年度末)
	R7.2.21 佐賀労働基準監督署 上限規制説明会での周知 29社 【運輸支局・労働局】	

「ホワイト物流」賛同企業 （「ホワイト物流」推進運動ポータルサイトより）

＜佐賀県:19社＞

- | | |
|------------------|--------------|
| ①公益社団法人佐賀県トラック協会 | ⑫株式会社イエローロジ |
| ②松浦通運株式会社 | ⑬株式会社三進物流 |
| ③株式会社商映 | ⑭有限会社堀兄弟運送 |
| ④株式会社ロジコム | 佐賀営業所 |
| ⑤有限会社トス・エクスプレス | ⑮株式会社ヤスキサービス |
| ⑥株式会社トワード | ⑯住ノ江海陸運輸株式会社 |
| ⑦株式会社ミヤハラ物流 | ⑰三共運輸株式会社 |
| ⑧佐賀県農業協同組合 | ⑱九州名鉄運輸株式会社 |
| ⑨株式会社大運 | 唐津営業所 |
| ⑩アサヒ通運株式会社 | ⑲九州名鉄運輸株式会社 |
| ⑪株式会社ノーサン | 佐賀低温流通支店 |



令和6年度 佐賀県地方協議会 重点取組事項

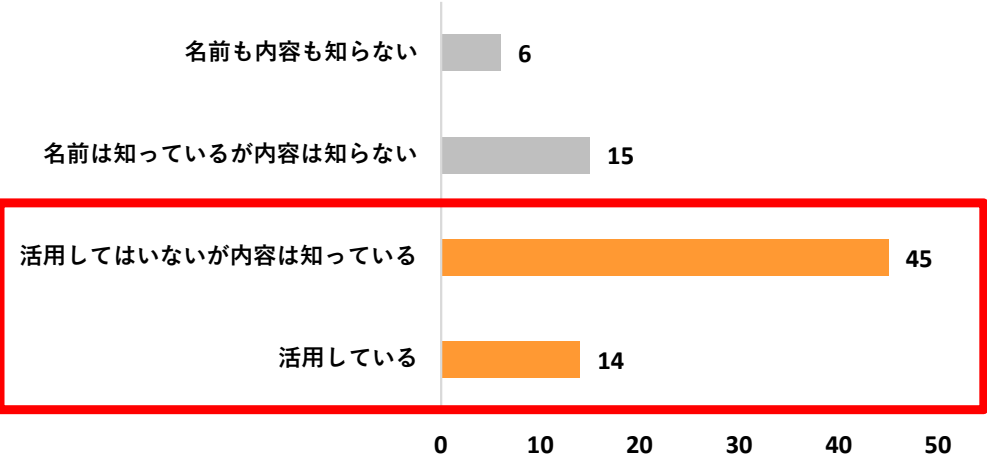
重点取組事項	主な取組状況	目標達成状況
改正労基法の 周知及び 理解の促進	R6.4～R7.2 荷主対策特別チーム（労働基準監督署 労働時間相談・支援班） による要請 合計107社に対して実施 【労働局】	【目標説明会開催数：4回以上】 18回開催 (延べ161社が参加)
	R6.4～R7.2 改正労基法等説明会の開催 合計18回開催 合計161社参加 【労働局】	
	R6.4～R7.1 貨物自動車運送適正化事業実施機関の巡回指導時におけるパンフレット配布（1か月あたり30社程度）	
	R7.2.7 唐津労働基準監督署 労務管理セミナーでの周知 29社 【運輸支局・労働局】	
	R7.2.21 佐賀労働基準監督署 上限規制説明会での周知 29社 【運輸支局・労働局】	

令和6年度 佐賀県地方協議会 重点取組事項

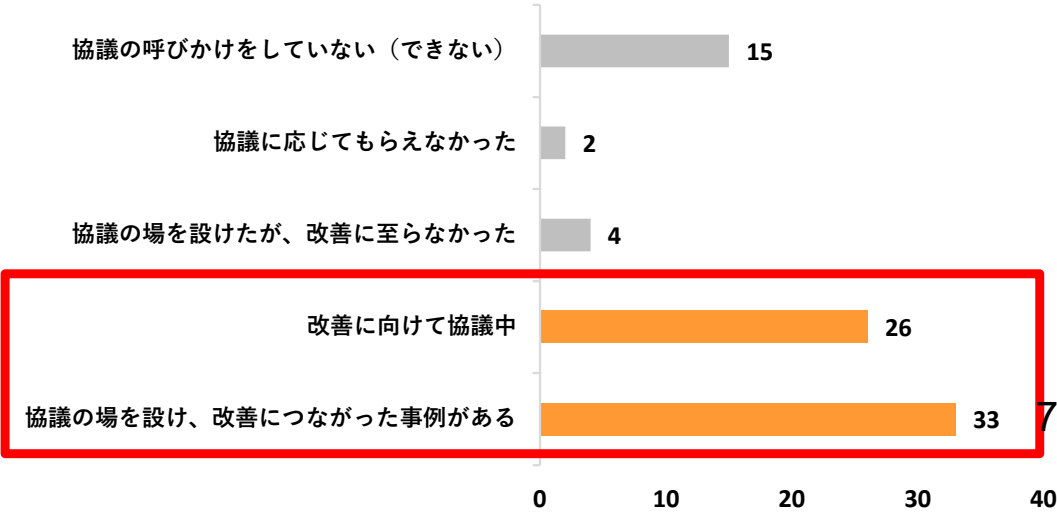
重点取組事項	主な取組状況	目標達成状況
「取引環境改善 ガイドライン」 の浸透	R7.2.7 唐津労働基準監督署 労務管理セミナーでの周知 29社 【運輸支局・労働局】	【目標認知度：75%】 【目標態度変容率：70%】 認知度 65.0% 態度変容率 63.8% (令和5年度実施アンケート) ▼ 認知度 73.8% 態度変容率 73.8% (令和6年度実施アンケート)
	R7.2.21 佐賀労働基準監督署 上限規制説明会での周知 29社 【運輸支局・労働局】	
	R6.12.19~R7.1.22 運賃の収受状況等に関するアンケート 【運輸支局】	

アンケート調査結果

「荷主と運送事業者の協力による取引環境と
長時間労働の改善に向けたガイドライン」の
認知度・活用状況



取引環境や長時間労働の改善に向けた、
荷主等との協議状況



令和6年度 佐賀県地方協議会 重点取組事項

重点取組事項	主な取組状況	目標達成状況
農産物輸送 効率化の 協議推進	R6.12 九州農政局、佐賀県農業協同組合と打合せ 【運輸支局】	【目標：農産物輸送効率化のための 懇談会の開催】 R7.2.13-R7.2.20 書面開催
	R7.1 トラック事業者と打合せ 【運輸支局・トラック協会】	
	R7.2.13-R7.2.20 第5回懇談会を開催(書面開催) 【運輸支局】	

第5回 佐賀県農産物輸送効率化のための懇談会 概要

＜開催日時・方法＞

日時：令和7年2月13日～令和7年2月20日
方法：書面開催

＜参加者＞

佐賀県農業協同、全農物流、佐賀運輸、前田運送、東西運輸
九州農政局・佐賀県・佐賀運輸支局・佐賀県トラック協会

＜議題及び参加者からの意見＞

報告事項

- ・国土交通省の取組・支援制度について
⇒トラック・物流Gメン及び標準的運賃の
制度拡充・強化が必要 など

・農林水産省の取組・支援制度について
⇒市場に対する全国共通ルール策定
及び監視体制を構築してほしい
⇒場内物流改善推進体制の構築に参入
していない市場へアプローチしてほしい
- ・トラック事業者の取組について
⇒有料道路利用料、作業員派遣費、
荷役作業費等、確実に収受すること
が今後の課題となる

・佐賀県農業協同組合の取組について
⇒青果物輸送の場合、直前まで運送
依頼の詳細が確定しないなかでの対
応を求められるため、他の仕事と比べ
て好条件の運賃が必要になるのでは

協議事項

- ・今後の懇談会取組について
⇒標準的運賃が収受できていない現状
をどう解決すべきか、荷主が出席して
いる場を有効活用して協議すべき
⇒改善の余地がある市場が存在すること
から、今後もなんらかの形で意見交換
の場が必要

報告事項への意見等を踏まえ
来年度の開催を検討中

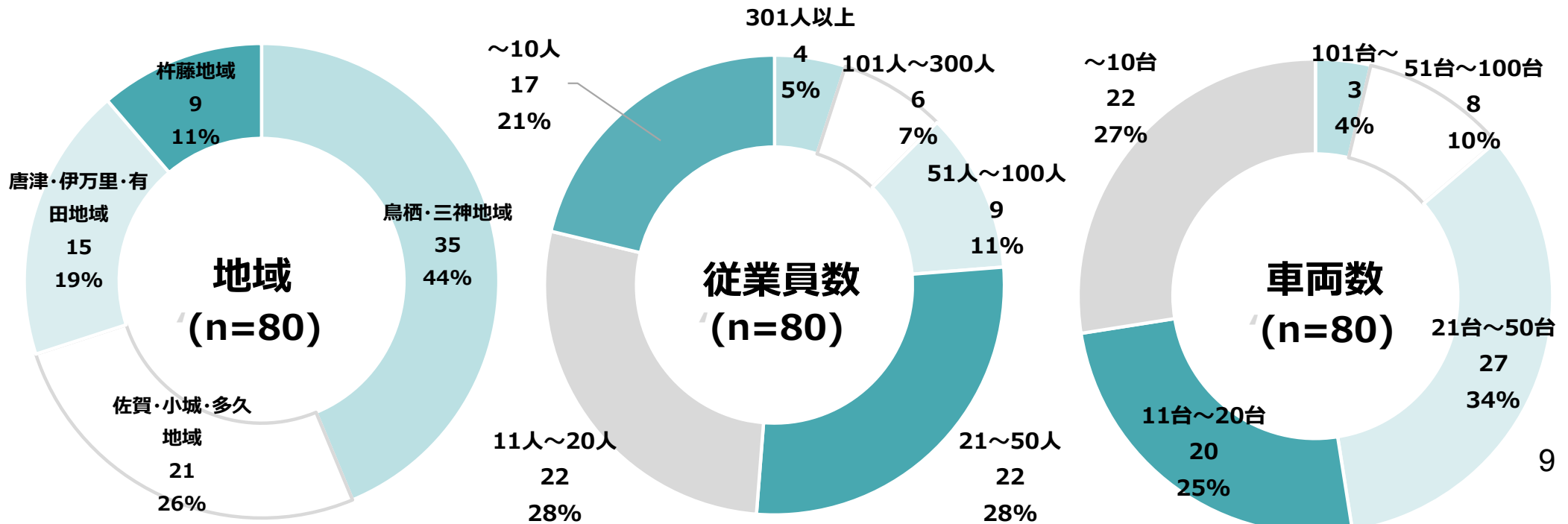
令和6年度 佐賀県地方協議会 重点取組事項

★アンケート調査結果

【アンケート調査概要】

- 調査目的：標準的な運賃の収受状況、取引環境等改善ガイドラインの浸透状況の把握
- 調査方法：佐賀県トラック協会会員523社に対するアンケート票を配布・回収
- 調査期間：令和6年12月19日～令和7年1月22日
- 回答者数：80社 回収率・・・約15%(昨年度アンケートの回答率31.8%からダウン)
※ 他機関が実施する同様の内容のアンケートと実施時期が重複したことなどにより、回答数が伸びなかったものと考えられる。
また、今回の回答者には物流問題に比較的関心が高い企業が多く含まれている可能性がある。

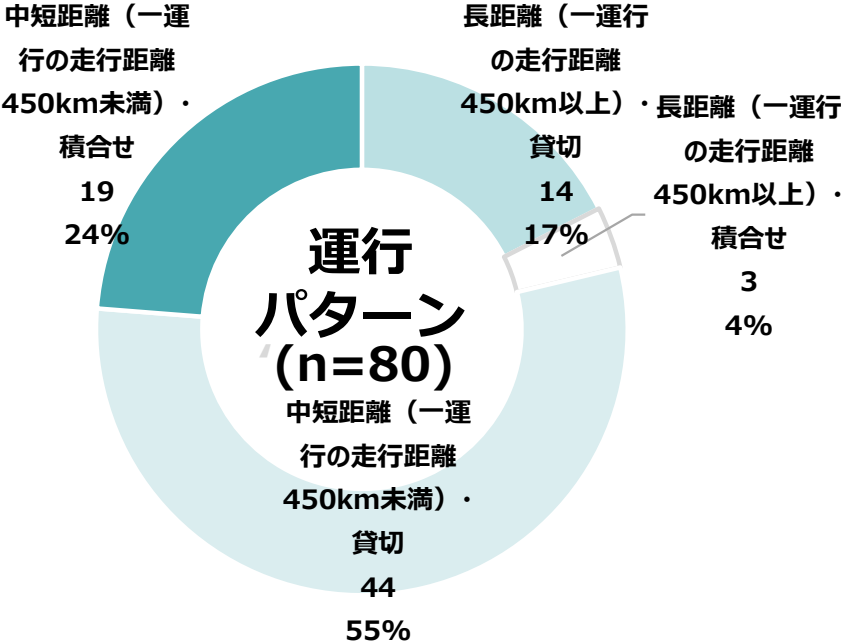
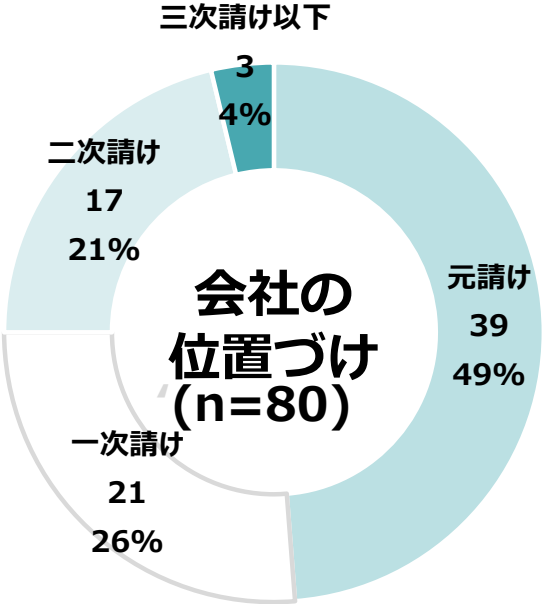
【回答者の情報】



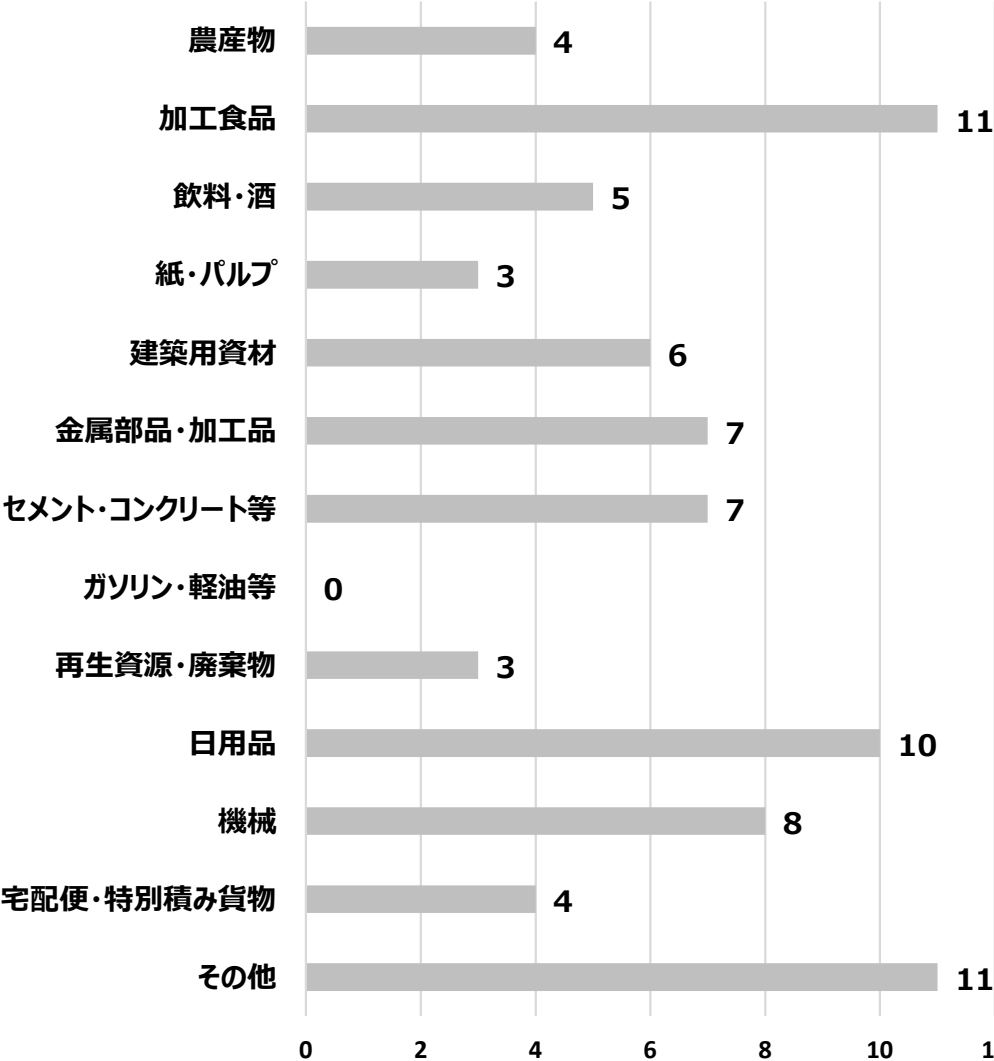
令和6年度 佐賀県地方協議会 重点取組事項

アンケート調査結果

【回答者の情報】



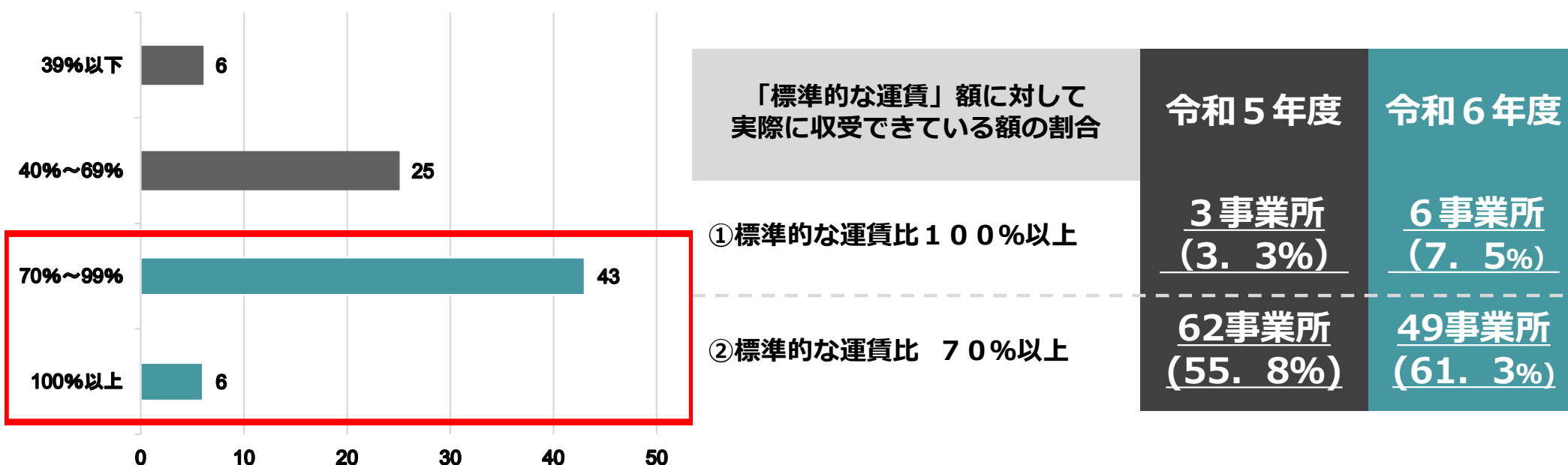
取扱い品目



※その他・・・医療器具、船舶部品、自動車部品 など

アンケート調査結果

■ 『標準的な運賃』の運賃額に対して、実際に収受できている運賃額の割合
(トラック事業者の回答 n=80)



- 前回の調査と比較した結果、割合だけでみると「標準的な運賃比100%以上」「標準的な運賃比70%以上」は増えている
- 「標準的な運賃比100%以上」と回答した事業所数は増えている

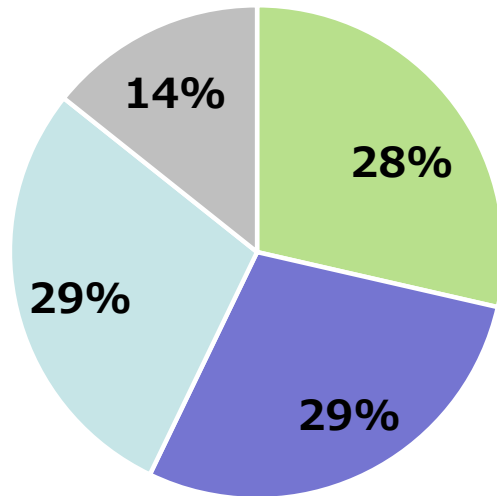
令和6年度 佐賀県地方協議会 重点取組事項

アンケート調査結果

■トラック事業者の運賃交渉の状況

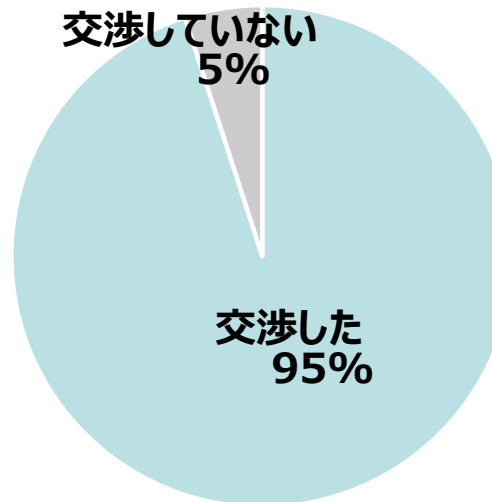
(トラック事業者の回答 n=80)

交渉していない理由

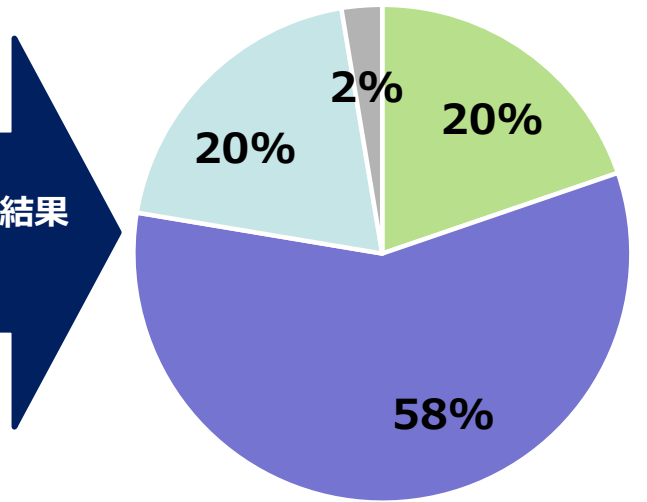


- 真荷主または元請事業者の経営状況を考慮
- 今後の契約への悪影響を懸念
- 交渉しても聞いてもらえないと思う
- 荷主から提案された

交渉状況



交渉した結果



- 全て受け入れられた
- 一部受け入れられた
- 交渉中
- 全て断られた

荷主の理解につながった取組

- ・標準的な運賃との比較
- ・経費高騰の説明、具体的な原価の数字を提示した
- ・取引開始時、都度運賃交渉することを伝えていた
- ・車両や人手の確保が難しい状況であることを説明し続けていた
- ・流動した見積もりの提案

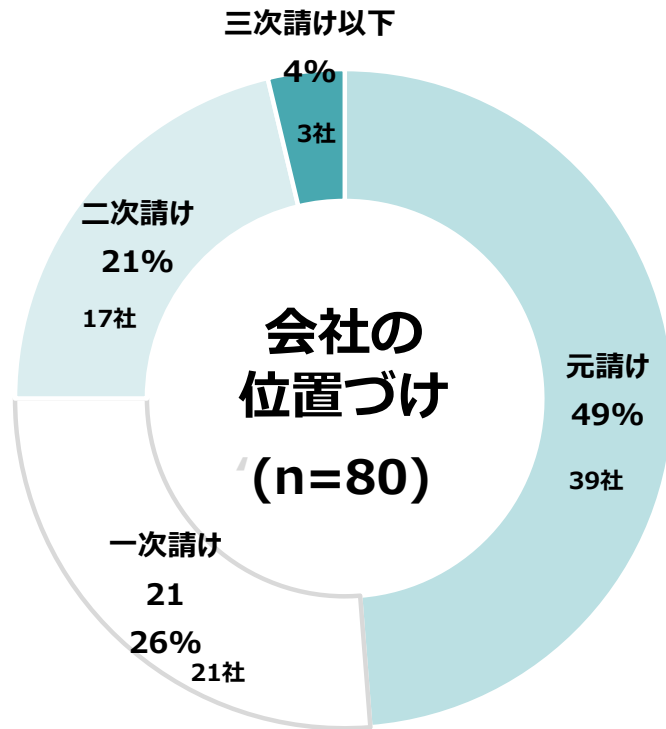
交渉した結果断られた要求・理由等

- ・荷主側も燃料や物価の高騰によるコストが上がっているため、全ての要求は受け入れてもらえなかった
- ・荷主の出荷低迷により、要求額の70%に留まった
- ・要望額の100%は受け入れてもらえなかったが、作業内容を変更（前日夕方積、翌日卸作業⇒当日配達）してもらうことができた

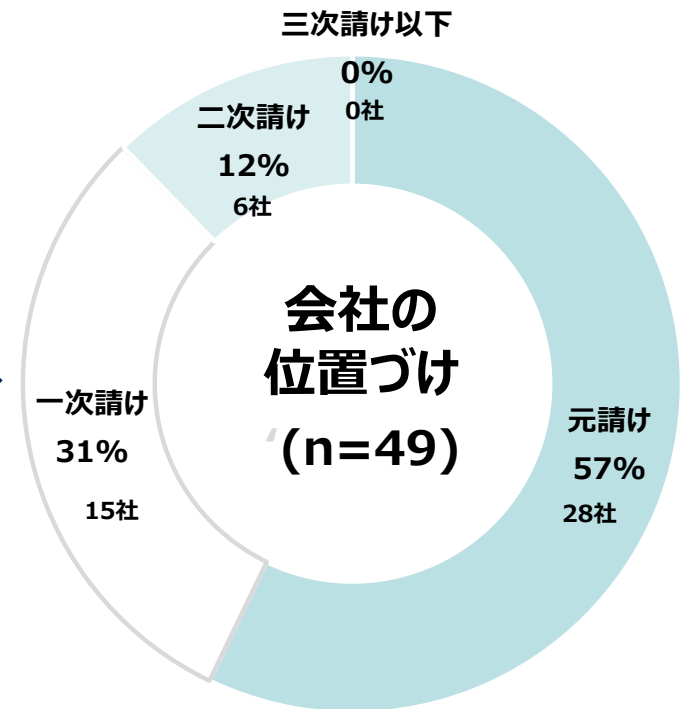
令和6年度 佐賀県地方協議会 重点取組事項

アンケート調査結果

■ 会社の位置づけと標準的な運賃に対して実際に収受できている額（70%以上）との関係



標準的な運賃に対して
実際に収受できている運
賃額の割合が70%以上
の事業者を抽出した結果



アンケートに回答した全事業者の内訳

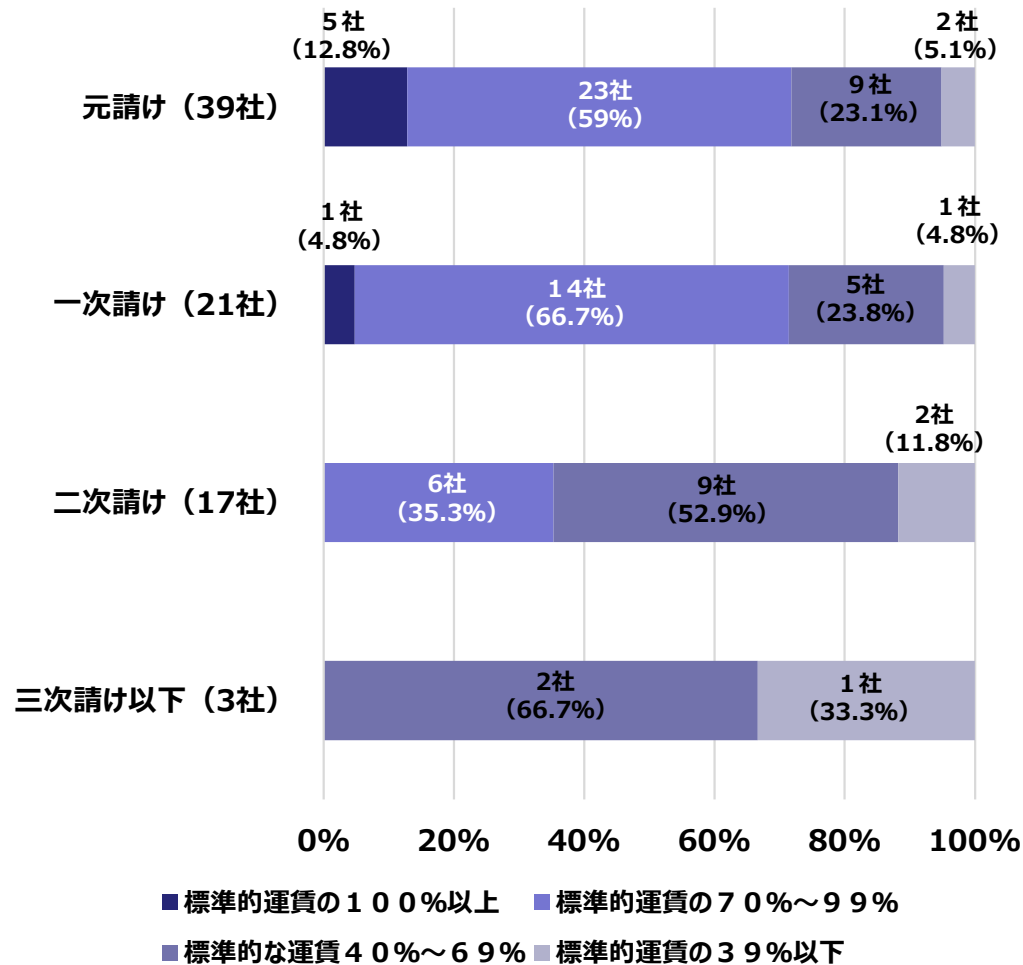
標準的な運賃に対して実際に収受
できている運賃額の割合が70%
以上と回答した事業者の内訳

- ・標準的な運賃に対して実際に収受できている運賃額の割合が70%以上の事業者49社の割合を比較しても、下請次数が多くなるほど標準的運賃収受が難しくなる傾向は顕著にあらわれている
- ・三次請け以下の事業者には、標準的な運賃に対して実際に収受できている運賃額の割合が70%以上となる事業者がない

令和6年度 佐賀県地方協議会 重点取組事項

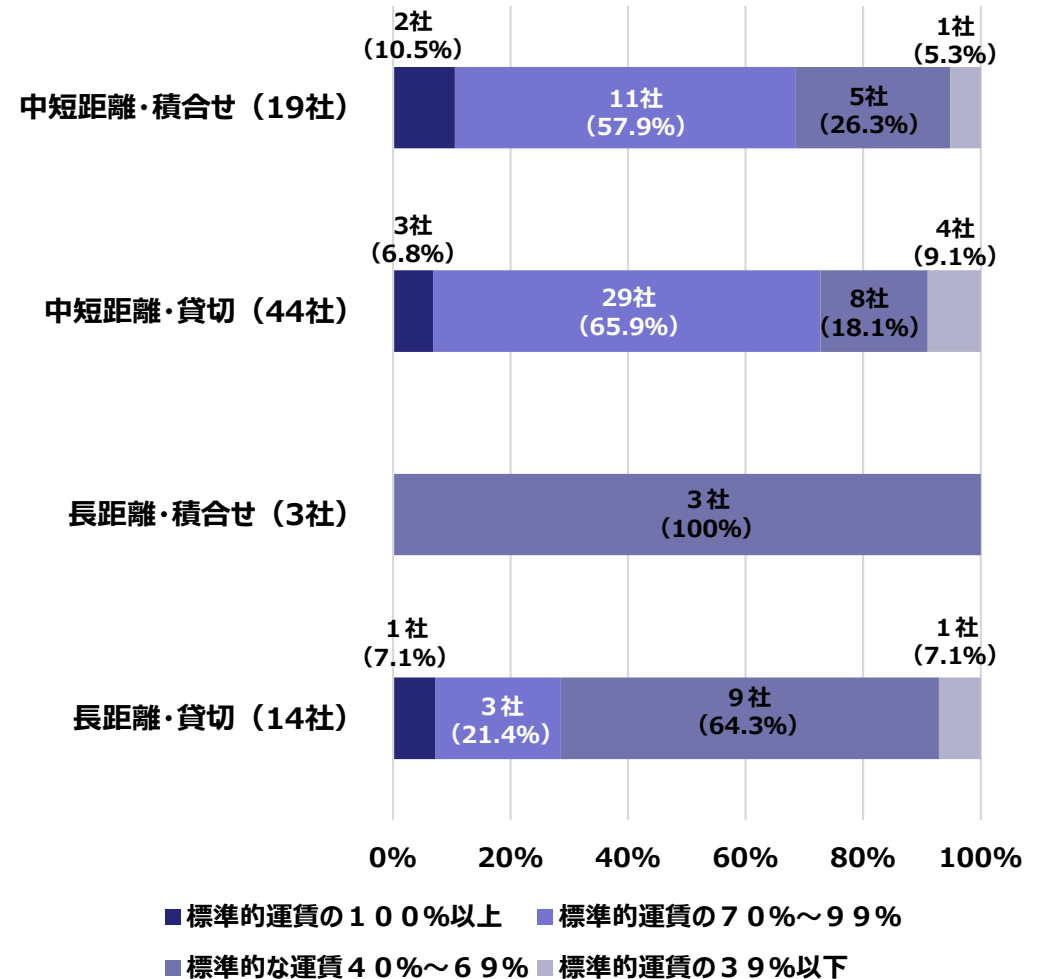
アンケート調査結果

■ 下請次数ごとの運賃収受の状況 (n=80)



・下請次数ごとの運賃収受の状況をみると、下請次数が多くなるほど標準的運賃収受が難しくなる傾向

■ 運行形態ごとの運賃収受の状況 (n=80)



・運行形態ごとの収受状況をみると、中短距離よりも長距離のほうが運賃の収受率が低い傾向

令和6年度 佐賀県地方協議会 重点取組事項

(参考) アンケート調査結果

■「物流の2024年問題」の影響

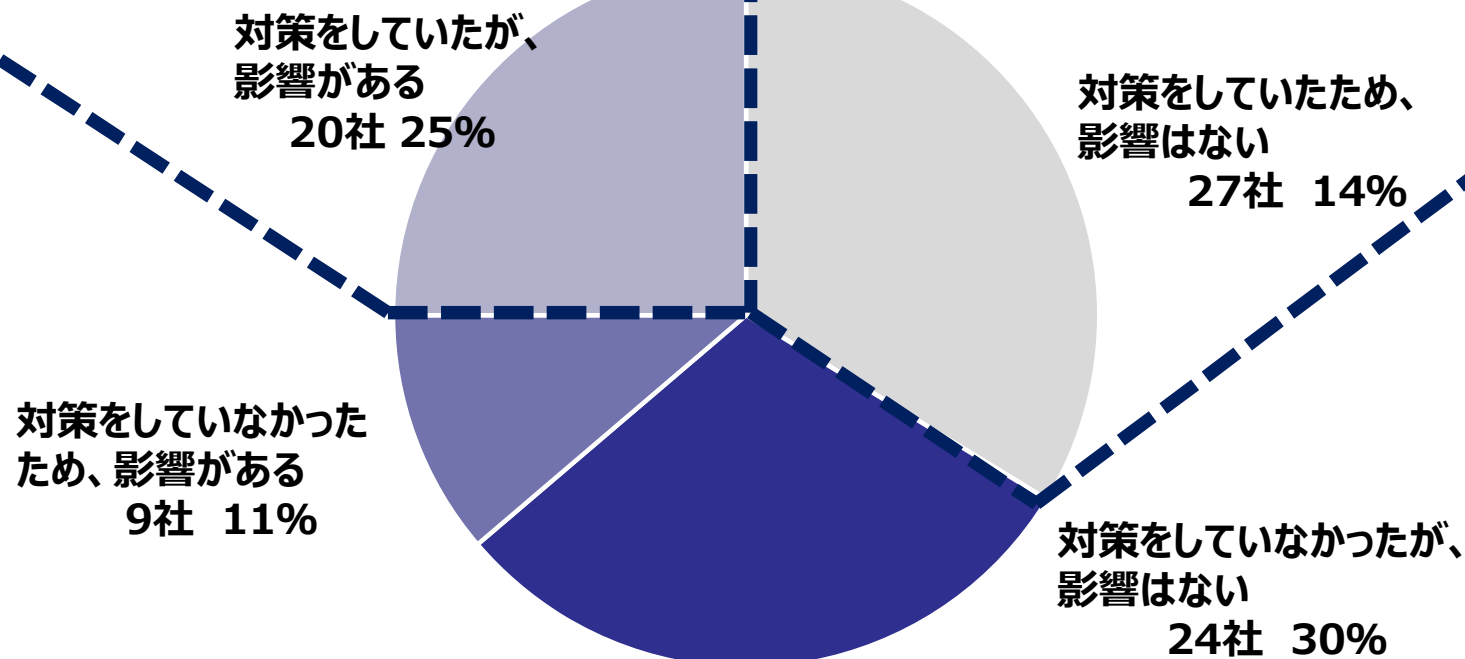
(トラック事業者の回答 n=80)

対策と影響

- ・長距離運行をやめた
→売り上げ減少
- ・フェリー、高速道路の使用→経費増加
- ・休憩休息の徹底
→ドライバーへの負担
- ・ドライバー増員
→荷主の要望に応え切れない

対策

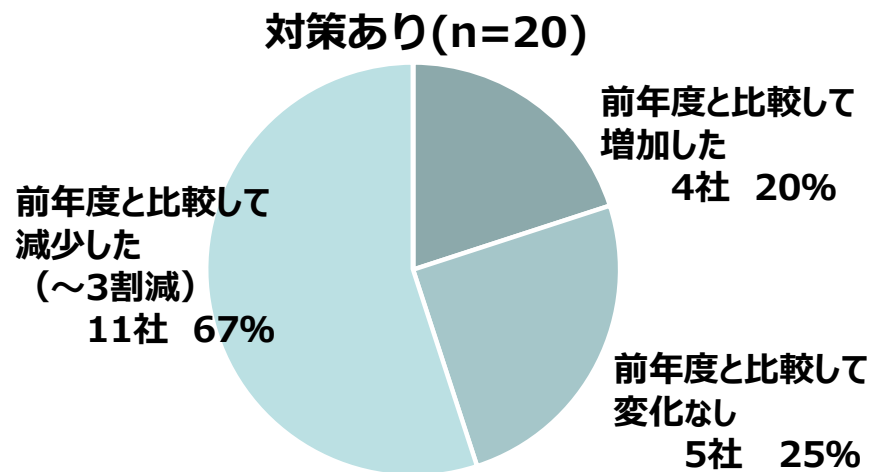
- ・ドライバーの増員
- ・運行の見直し
(稼働時間の短縮、出勤日数の削減、
到着時間の見直し、朝積みに切り替えて
輸送日数を増加、JR貨物や飛行輸送の
利用)
- ・スイッチ運行、積み卸しを事務職が行う



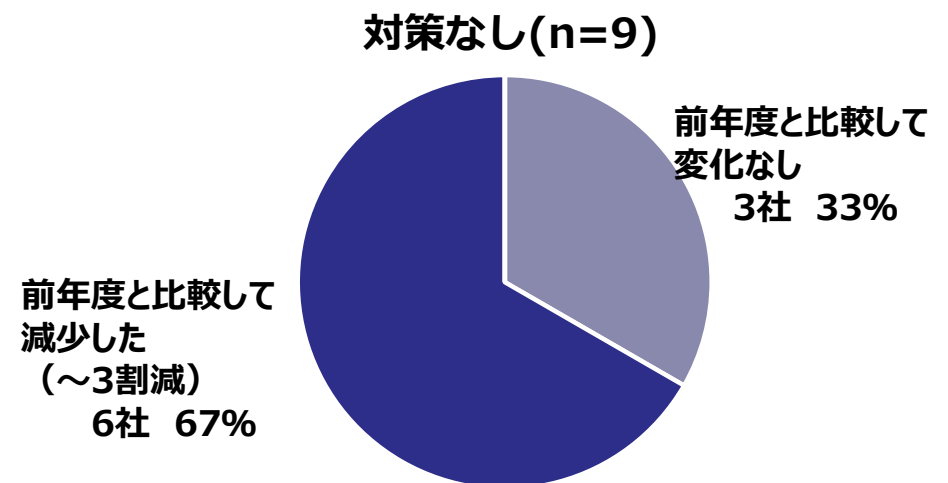
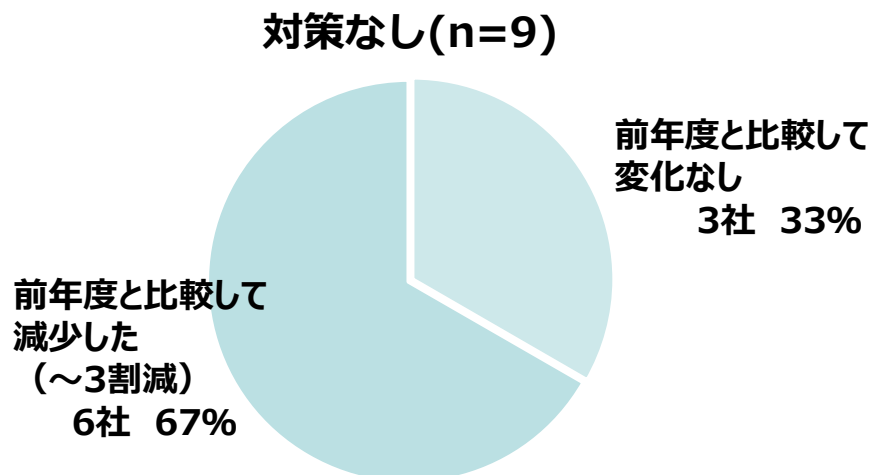
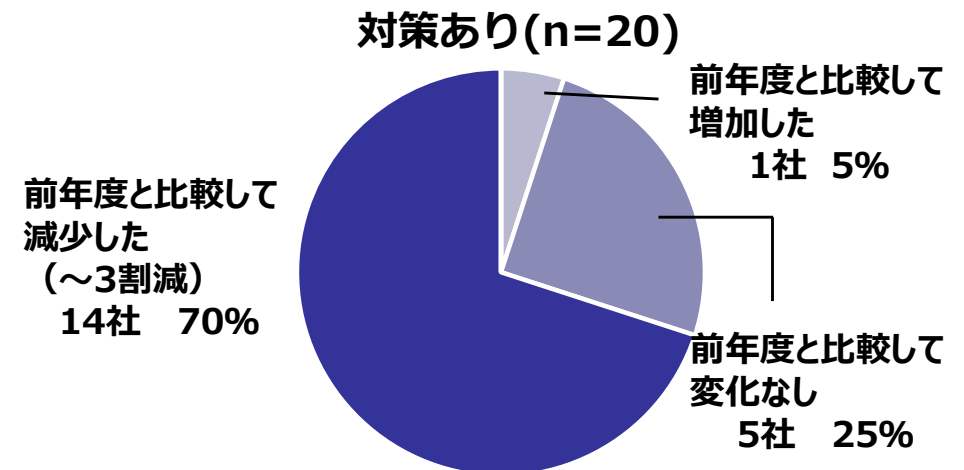
令和6年度 佐賀県地方協議会 重点取組事項

(参考) アンケート調査結果

■「物流の2024年問題」の影響 輸送量の変化 (n=20,9)



■「物流の2024年問題」の影響 総労働時間の変化 (n=20,9)



令和6年度 佐賀県地方協議会 重点取組事項(佐賀労働局)

> 労働基準監督署による説明会の開催開催

年度	説明会回数	参加事業場数
令和6年度※	18	161
令和5年度	22	184
令和4年度	15	249
令和3年度	8	33
令和2年度	8	91
令和元年度	5	224

※ 令和6年度は令和7年2月末現在

【過去の取組状況】

左記のほか労働局（監督課）で実施

○令和元年度

労務管理・荷役災害防止に係る研修会

⇒67事業場、79名が参加。

荷主と運送事業者のためのトラック運転者の労働時間短縮に向けたセミナー

⇒249名が参加



(佐賀会場)

○令和4年度

新改善基準説明会

⇒5回

239事業場が参加。

令和6年度 佐賀県地方協議会 重点取組事項(佐賀県トラック協会)

事業者向けセミナーの開催

R6.8.20	県商工会連合会会員「2024年問題」セミナー(会長)	グランデはがくれ
R6.8.28	中部支部 物流業界価格交渉セミナー	ガーデンテラス佐賀
R6.9.19	鳥栖商工会議所例会「2024年問題」セミナー(会長)	鳥栖市 花やしき
R7.1.17	青年部・女性部 「2024年問題」セミナー(会長)	ガーデンテラス佐賀
R7.1.22	北部支部 運賃交渉セミナー	唐津市 浜玉公民館
R7.2.10	中部支部 標準的運賃活用セミナー	ガーデンテラス佐賀
R7.2.14	価格転嫁に向けた運賃交渉等相談会	佐賀県トラック協会
R7.2.21	北部支部 標準的運賃活用セミナー	伊万里市民センター
R7.3.6	東部支部 標準的運賃活用セミナー	上峰町民センター
R7.3.11	西部支部 標準的運賃活用セミナー	嬉野市中央公民館

人材確保の取組

R6.4.10	自衛隊における事業説明会・乗車体験会(運輸支局共催)	陸上自衛隊目達原駐屯地
R6.5.31	佐賀大学経済学部生に対する物流講義(会長)	佐賀大学
R6.8.5	退職自衛官対象の職場見学・運転体験会(運輸支局共催)	ふじ自校、(株)ロジコム
R6.12.6	高校生のための県内企業合同説明会(県共催)	唐津市文化会館
R6.12.9	高校生のための県内企業合同説明会(県共催)	ケーブルワンスポーツパーク
R7.1.21	運輸業界合同就職面談会(ハローワーク共催)	ハローワーク唐津
R7.1.23	運輸業界合同就職面談会(ハローワーク共催)	ハローワーク鹿島
R7.1.28	運輸業界合同就職面談会(ハローワーク共催)	ハローワーク鳥栖
R7.1.29	運輸業界合同就職面談会(ハローワーク共催)	ハローワーク伊万里
R7.2.13	運輸業界合同就職面談会(ハローワーク共催)	ハローワーク武雄
R7.2.28	運輸業界合同就職面談会(ハローワーク共催)	ハローワーク佐賀

その他

R6.12.1	トラック協会プレゼント「トラックの日スペシャルゲーム」 佐賀バルナースvs長崎ヴェルカの開催時における価格転嫁 に対する広報・アンケート	佐賀アリーナ
R6.12.9	荷主物流セミナー(講師 門倉貴史)	ガーデンテラス佐賀

令和6年度 佐賀県地方協議会 その他取組事項

トラック・物流Gメンによる活動

佐賀運輸支局における主な活動

○情報収集

- ・事業者訪問や電話による情報収集を実施

⇒ヒアリング数41件のうち27件が荷主等の違反原因行為の情報収集につながった（R6.4～R7.2）

- ・SA・PAやトラックステーションにてトラックドライバーへのヒアリングを実施

⇒ R6.12 鳥栖TSで実施したヒアリングの様子（右写真）



○啓発活動

- ・物流センター前での荷待ち状況のパトロールや倉庫事業者へのヒアリング、経済産業局・県と合同の荷主への啓発活動（荷主パトロール）を実施

⇒佐賀運輸支局においては、R6.12、R7.1に佐賀県鳥栖市内の複数の物流施設に、荷主パトロールを実施

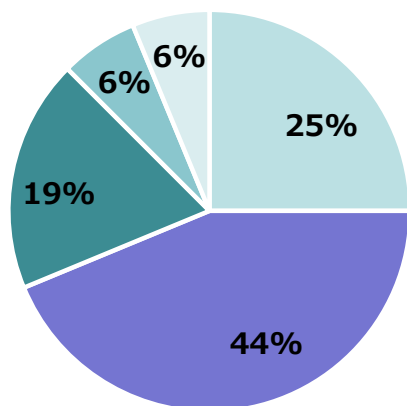
⇒R6.12 に実施した荷主パトロールの様子（右写真）



- ・下記セミナーにおいて、講演を行い、トラック・物流Gメンの周知を実施
＜R7.2.15 ローカルネット実務者大会＞
＜R7.3.6「標準的な運賃」活用セミナー＞

佐賀運輸支局における違反原因行為の収集状況

R6年度 違反原因行為の割合



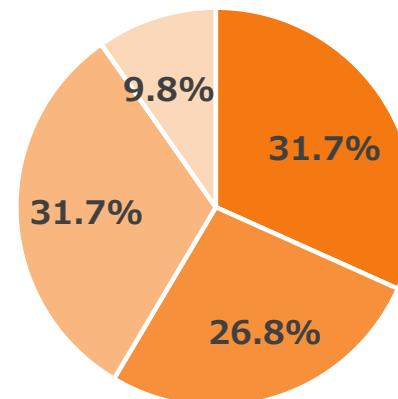
※R7.2末時点

※佐賀支局でヒアリングを行った事業者からの情報

- 長時間の荷待ち 【8件】
- 運賃・料金の不当な据え置き 【14件】
- 契約にない付帯業務 【6件】
- 無理な運送依頼 【2件】
- 異常気象時の運送依頼 【2件】

n=32 [複数回答あり]

(参考) R5年度 違反原因行為の割合



※令和6年1月末時点

※佐賀支局でヒアリングを行った事業者からの情報

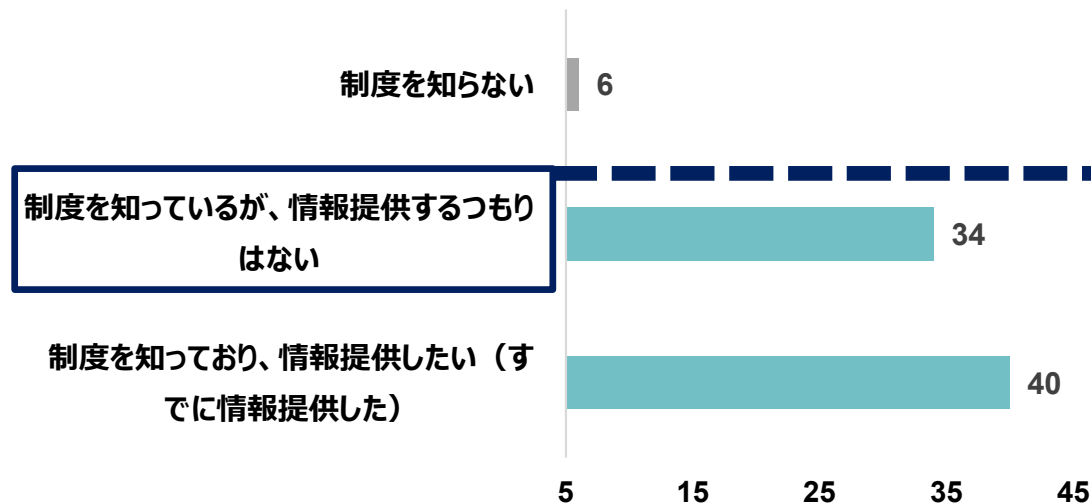
- 長時間の荷待ち 【13件】
- 契約にない付帯業務 【11件】
- 不当な運賃・料金の据え置き 【13件】
- 無理な運送依頼 【4件】

N=41 [複数回答あり]

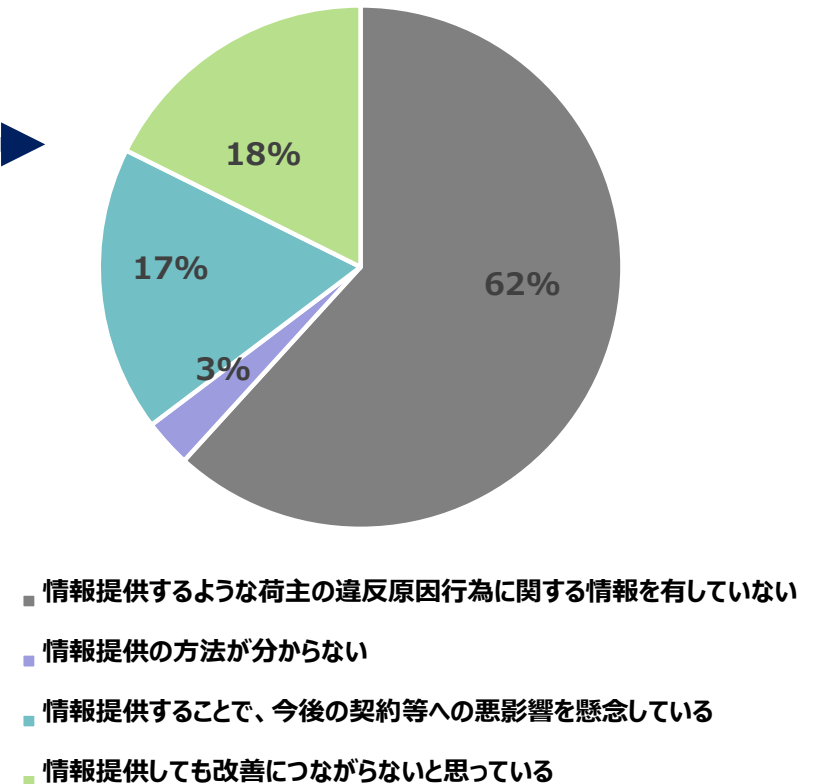
令和6年度 佐賀県地方協議会 その他取組事項

トラック・物流Gメンによる活動

アンケート調査結果 (n=80)



制度を知っているが、情報提供するつもりがない者の内訳



- トラック・物流Gメン制度の認知度はおよそ**92%**（R5年度ではおよそ69%）
- 制度を知っている者のなかで情報提供したい（すでに情報提供した）者は**半数**
- 情報を有している約**4割**がトラック・物流Gメンに提供しない（R5年度ではおよそ約6割）

- 情報提供するような荷主の違反原因行為に関する情報を有していない
- 情報提供の方法が分からない
- 情報提供することで、今後の契約等への悪影響を懸念している
- 情報提供しても改善につながらないと思っている

次年度におけるトラック・物流Gメンの活動（佐賀運輸支局）

- ・貨物自動車運送適正化事業実施機関の巡回指導を通じた情報収集
- ・トラック事業者への訪問ヒアリング等によるプッシュ型情報収集
- ・荷主企業に対する周知活動

令和6年度 佐賀県地方協議会 その他取組事項

人材確保施策の実施

自衛隊地方協力本部と連携した取組（佐賀／退職自衛官向け事業説明会・乗車体験会）

日時：令和6年4月10日（水）12:00～15:30

場所：陸上自衛隊目達原駐屯地（佐賀県神埼郡吉野ヶ里町）

参加人数：35名（プレ説明会6名、本説明会・乗車体験29名）※29名は全て定年制自衛官

①プレ説明会

- ▶ 昼休み時間帯に、共用スペースの一角で自由参加型の説明会を開催
- ▶ 共用スペース前の駐車場では、バス・タクシー・トラック車両を展示

②バス・タクシー・トラック事業説明会

- ▶ バス・タクシー・トラック事業の概要、ドライバーの仕事について説明
- ▶ 県内バス・タクシー事業者に就職した隊員OBから体験談等の講話

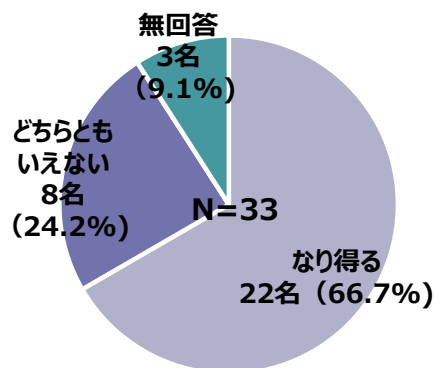
③バス・トラック乗車体験、タクシー車両展示

- ▶ ドライバーが運転するバス・トラックに乗車し運転席の間近の様子を体験
- ▶ バス・タクシー・トラック特有の機器類、装置に関する説明

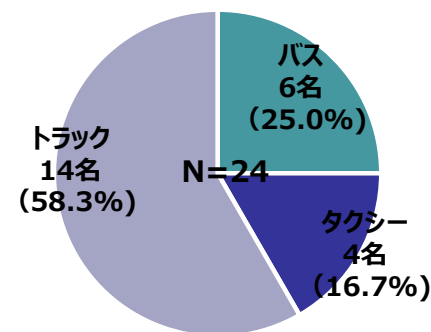


参加隊員の反応（アンケート結果）

①今回の説明会に参加して、バス・タクシー・トラック業界は就職先候補になり得るか



②「なり得る」と回答した人について、どの業界が就職先の最有力候補か（複数回答あり）



業界団体・参加事業者の声

- 大変貴重な機会を提供いただき感謝。（業界団体）
- 隊員の皆さんはとても熱心に話を聞いてくれた。（トラック事業者）
- 若く退職する任期制自衛官に対しても同様の取組を。（トラック事業者）

人材確保施策の実施

自衛隊地方協力本部と連携した取組（佐賀／退職予定自衛官の職場見学会）

日時：令和6年8月5日（月）9:00～16:50

参加人数：6名（全て若年定年制自衛官）

①自動車学校での運転体験

- ▶ 大型バス、大型トラックの教習車を用いて運転体験を実施
- ▶ 指導員の添乗のもと教習コースで車庫入れやS字カーブ等を運転し、駐屯地の車両との違いを体感

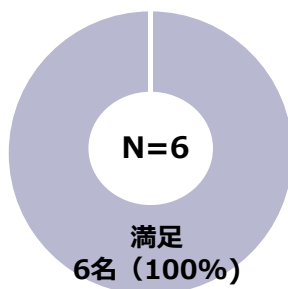
②バス・タクシー・トラック営業所での職場見学

- ▶ 業界団体による業界の状況に関する説明
- ▶ 会社概要・沿革、業務内容等の説明
- ▶ 車両点検や点呼等の運転士の業務の様子や車両・施設の見学
- ▶ 自衛隊OBとの質疑応答



参加隊員の反応（アンケート結果）

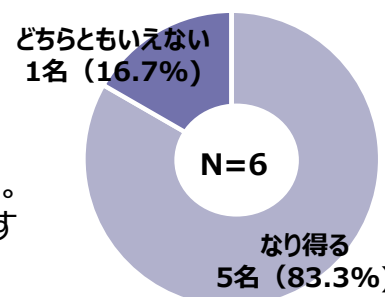
①今回の職場見学会の総合的な満足度について



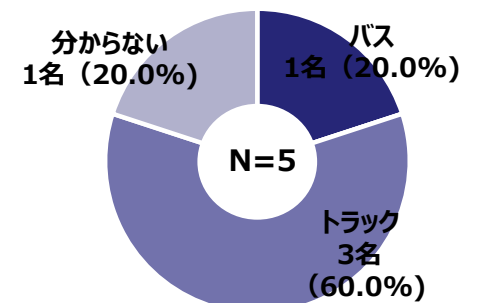
<主なコメント>

- ▶ 分かりやすく説明していただき、運輸の仕事に進みたいと感じた。
- ▶ 運輸業にも興味を持った。今後の企業説明会等の情報提供をお願いしたい。
- ▶ 運転体験を通じて、車両感覚を取り戻すためには時間が必要と実感した。

②今回の説明会に参加して、バス・タクシー・トラック業界は就職先候補になり得るか



③「なり得る」と回答した人について、どの業界が就職先の最有力候補か



令和6年度 佐賀県地方協議会 その他取組事項

人材確保施策の実施

佐賀県バス・タクシー・トラック合同企業説明会の開催

日時：令和6年9月3日（火）13:00～16:10
場所：メートプラザ佐賀（佐賀市兵庫北）

参加事業者数：23社（バス4社、タクシー11社、トラック8社）
ブース数：18 来場者数：37名

①参加事業者のPR

- ▶ 各社5分以内で自社のプレゼンを実施
- ▶ 資料は各社で自由に設定
- ▶ 参加事業者到他社のプレゼンを見学させることで、求職者に対するPR力を業界全体で向上させることも狙う。

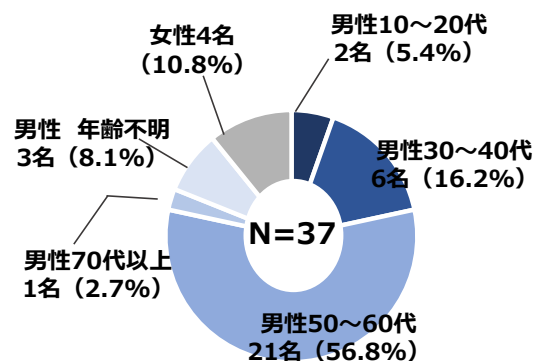


②各ブースでの個別面談

- ▶ 参加事業者毎に設置したブースにおいて求職者と対面で面談。
- ▶ 「働きやすい職場認証」を取得した事業者のブースにはロゴを掲示。
- ▶ ハローワーク佐賀のブースでは個別の就職相談を実施。
- ▶ 各社の求人票は求職者だけでなく各事業者にも配布。他社の採用条件を自社と比較させることで、運転士の待遇の底上げを期待。

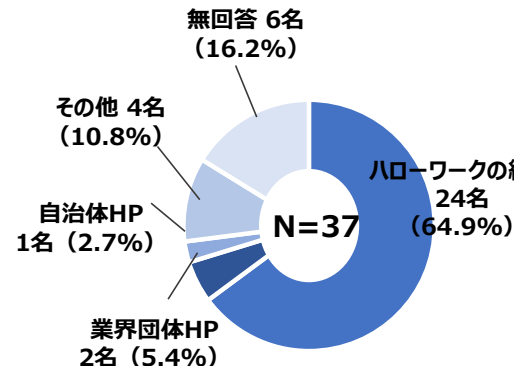
来場した求職者の反応等（アンケート結果）

①求職者の内訳（性別・年齢）



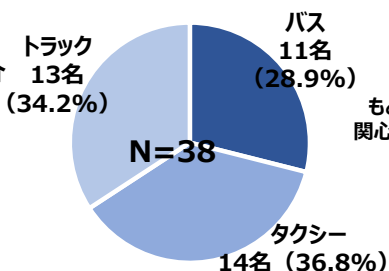
※女性の年齢内訳
20代：1名、40～50代：3名

②説明会の開催を何で知ったか。

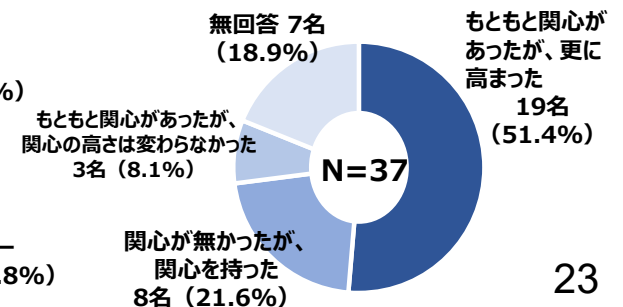


※その他の回答
会社の紹介
友人・知人からの紹介

③業界ごとの面接のべ人数



④説明会に参加して業界に関する関心度の変化



令和6年度 佐賀県地方協議会 その他取組事項

人材確保施策の実施

佐賀県バス・タクシー・トラック合同企業説明会の開催

日時：令和7年1月22日（水）12:30～16:00
場所：メートプラザ佐賀（佐賀市兵庫北）

参加事業者数：25社（バス5社、タクシー11社、トラック9社）
ブース数：20 来場者数：41名（一般24名、自衛官17名）

①参加事業者のPR

- ▶ 各社5分以内で自社のプレゼンを実施（希望する事業者のみ）

②運転士等とのフリートーク

- ▶ 実際に現場で活躍する運転士と直接対話できる座談会を開催

③各ブースでの個別面談

- ▶ 個別ブースにおいて求職者等と対面で面談
- ▶ 「働きやすい職場認証」を取得した事業者にはロゴを掲示

④（独）自動車事故対策機構の運転者適性診断の体験コーナー

- ▶ CGシミュレーションによる模擬運転を体験できるコーナーを設置

⑤（一社）佐賀県自動車整備振興会による自動車整備士のPR

- ▶ 自動車整備士の仕事の魅力ややりがい、支援制度等を説明



参加事業者のPR



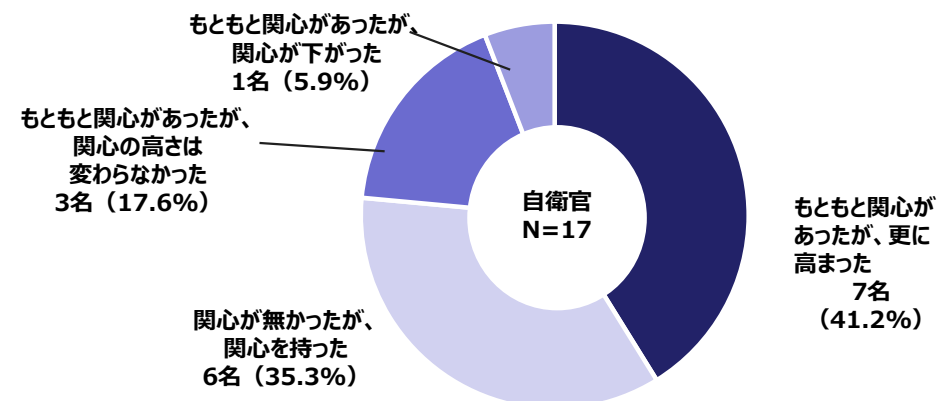
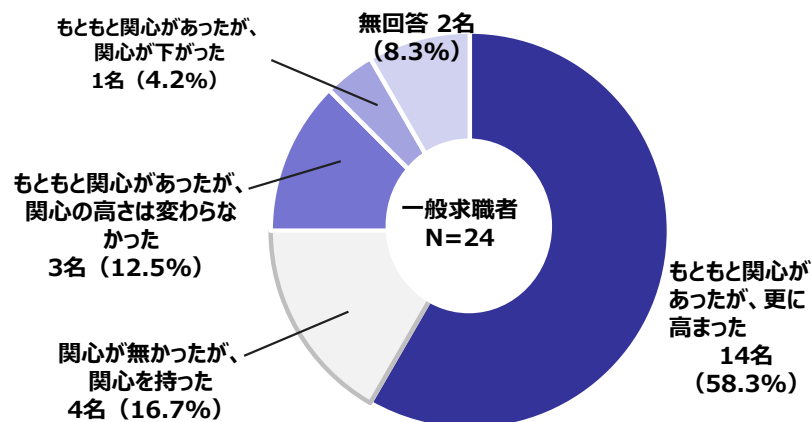
運転士とのフリートーク



運転者適性診断コーナー

左記のほか、自衛隊佐賀地方協力本部による予備自衛官補募集ブースも開設し、来場者及び出展企業へ予備自衛官補制度の周知を行った。

来場した求職者の反応等（アンケート結果）



来場した求職者、自衛官の7～8割が今回の説明会を通じてバス・タクシー・トラック・自動車整備への関心が高まったと回答。